

介護体験を

聞く会



ホームページ
<http://www.yanagida-kaigo.co.jp/>

地域の介護連携が成功した事例を報告します。

事例の方は90歳でデイサービス利用の方です。長年の下痢と発熱を繰り返してきました。医療機関や訪問看護ステーションが現状を直視して、連携のあり方を整頓した結果、これらの症状が改善し、本人も元氣になり、家族が安心した事例です。

『第155回介護体験を聞く会』

平成26年11月29日(土)開催

*議題

- ・「Sさん」の事例検討
- ・文化祭のふり返り
- ・在宅介護家族相談会
- ・グループホーム運営推進会議

*参加者

職員…院長 柳田ケアマ
ネ 古谷 厚川 飯田
山崎 柏倉 梅本
家族…関さん 柳澤さん
小宮さん 野々目さん
藤田さん
Sさんの事例検討

会報第154号

平成26年12月20日発行

発行所…(有)明寿会

住所…川崎市中島1-13-3

電話044-2333-0061

*定例会は最終土曜日です。

(今年12月は20日)

*生い立ち

大正13年5月15日
茨城県日立市に生まれる。
お見合いで結婚される。

昭和58年頃に夫が脳卒中で4年間入院、その後4年間自宅にて夫を介護する。平成2年に夫が他界される。平成16年頃に腸閉塞による体調不良となり、原因箇所特定に2年間掛かり、その間あまり歩行しなかつた為、下肢筋力が低下し歩行が不安定になりました。

平成22年頃に脳の委縮があると診断され、認知症が始まり娘の顔も分からなくなりました。平成24年に孫の住宅購入を機に日立市から川崎市に転居、長女と孫の3人での同居生活となりました。

*自宅での様子
日中はテレビを見たりして、のんびりと過ごさ

あさひこまつり交流



れる。以前は新聞をよく読んでいたが、最近視力低下の為かあまり読まなくなりしました。夜は3・4時間おきに目を覚まします。朝食を2時間位掛けて食べる事もあり、何年か振りに編み物をした事もあった様です。

*デイサービスでの様子
発言は少ないが自ら話し掛ける事もあります。主張したい事があると同じ事を繰り返して発言されます。周りの話しは理解出来ており、相槌をうったり自らの思いで話してもして下さります。歌の時には童謡や唱歌を歌い、手拍子をする事もあります。食事は自立ですが、

手が止まる事があり職員による声掛けと見守りを行っております。最近食欲が出て来た為か、食べ物のお話になると「いいえ、食べたいよ。」と笑います。歩行は室内では両手引きか、つたい歩き、外出時は車椅子を使用です。入浴は下腹部に手術痕の穴がある為、ご自身でガーゼを抑えて頂きシャワー浴です。着る服を手渡しにて上半身は見守り、下半身は介助です。排泄は下着の上げ下げとお尻拭きを介助します。

午後は帰宅願望が出ますが、塗り絵や包帯巻きをお願いすると楽しそうに行つて下さいます。
*問題点と解決への取組み
平成26年3月頃デイサービス来室時に38℃台の熱発があり、主治医を受診して頂くが原因不明との事。5月頃から熱発・下痢便が頻発する。デイサービスご利用中の水分摂取量が500cc600ccと少ないが、トイレ頻回。右下腹部の手術痕の穴から滲出液が常出し、



保育園児の発表会に参加

周囲の皮膚が爛れていました。6月上旬まだ症状が続いており、主治医と訪問看護事業所との連絡を密にする様提案すると同時に、主治医と訪問看護事業所が違う別法人の為、主治医が運営する同じ法人の事業所への変更を検討しました。

※この時点での内服薬
マグミット錠330mg
ガスモチン錠5mg
プラダロン錠200mg
プルセンド錠12mg
アレジオン錠20mg
7月上旬デイサービスでの状態と訪問看護からの情報を、ご家族経由で主治医に連絡して頂いて内服薬が減りました。

※この時点での内服薬
プラダロン錠200mg
ピオフェルミン

7月中旬サービス担当者会議にて、主治医が運営する同じ法人の訪問看護事業所に変更。連携を密にして情報の伝達をデイサービスも含め共有しました。8月中旬定期受診にて、内服薬を中止し様子を見る様指示がありました。

※この時点での内服薬
なし

*問題点のその後と今後の対応

7月中旬からデイサービスご利用中の熱発は無くなり、8月下旬から有形便が始め現在は普通便が出る事もあります。

保育園児の演劇に見入る高齢者



水分摂取量を記録し現在では800cc前後で、トイレの回数も減少しました。体調改善に伴い滲出液も減り、周囲の皮膚状態も改善されました。いつも朗らかに、朝の会や創作の輪に加わって下さいます。引続き健康管理に注意し安心して過ごして頂ける様、また来室を参ります。

【文化祭のふり返り】

*柳田ケアマネ
今回は地の利(商店街)もあつた為か、小学生や中学生の姿が目につきました。また、利用者の作品や日々の活動が中心となった展示でした。

*Nさん(野々目さん)
作品を作るのも大変だったろうけど、日常生活も大変なんだね。と一緒に来た娘が言っていた。

*Kさん(小宮さん)
手作りの素晴らしいお土産を頂いたけど、作るの大変だったでしょうね。Fさん(藤田さん)

広くなった分、観やすくなった。

*院長
来年も同じ場所であればと思っています。

【在宅介護家族相談会】

水分補給が大切だとの話題から、液体の状態だとおちよぼ口になってなかなか飲めなかつたり飲まなかつたりする為、トロミをつけて飲ますと良いと話しが展開しました。話しが発展して「昔は熱を出したりした時は、母が片栗粉でトロミをつけて飲ませてくれました。」と、出席された方々から同じ思い出を伺う事が出来ました。

【グループホーム 運営推進会議】

*グループホームからの報告とお願い
グループホーム内にて、風邪が流行しています。要介護度が上がり食事介助が必要な入居者様が多くなつてきている現状で、風邪をひくと食事がなかなか摂りずらくなり、食事介助に更なる時間が掛かっております。

それなりの人員体制を取れる様努めておりますが、そこでご家族様の食事介助へのご協力をお願い出来る所存でございます。また、12月の予定にありません大掃除
・しめ縄飾り作り
・餅つきにもご協力
・お手伝いをお願い出来ればと思っております。よろしくお願い申し上げます。

藤崎保育園交流会

12月9日(火)、好天にも恵まれ、藤崎保育園にお招きいただき、柳田デイサービス・柳田デイケア・グループホーム旭町合同で、園児達の太鼓や劇などを観劇させていただきました。
見慣れない場所に戸惑っていた利用者さんもいましたが、幕が開き、子供達が太鼓を叩き始めると視線は一気にそちらに集中、三人一組が交代するたびに拍手を送っていました。
続いては「ブレイメンの音楽隊」のミュージカ

ル。思いつきり声を出し、元気に歌い台詞を言う子供達を見て「あんな小さいのに、よく歌詞や台詞を覚えてるねえ」と感心されている方が多く、「みんな4才の子供たちですよ」と伝えると、驚かれ一段と感心されていました。

幕間にはあやとりが得意な子供達が、ひとりひとり技を披露して下さり、女性利用者さん方はやはり関心が強いようで、前の方の頭の左右からのぞき込むように見ていた方もいらつしやいました。

最後は「おむすびころりん」の劇。締め挨拶では園児がひとりずつ名前を言いお辞儀をするたび、利用者さん方は拍手を送っていました。

プログラムが一通り終わると、子供達が近づいてきてくれて、握手をしたりお礼を言ったりすることができました。皆さん「孫を思い出すなあ、ひ孫の世代かな？」と目を細め、喜ばれていました。

ろいろとご配慮いただいた藤崎保育園の先生方に、かわいらしくステキな演技を見せてくれた子供達に、改めて感謝いたします。

また、来年1月には獅子舞見学にもお誘いいただいております。今回同様に利用者さんと子供達双方が楽しめる良い交流会にできればと思います。

柳田デイサービス

古谷

介護保険制度改正を踏まえて

＊今後の介護保険をとりまく状況について

65歳以上の高齢者数は2025年には3658万人となり、2042年にはピークを迎える予測(3878万人)また、75歳以上高齢者の全人口に占める割合は増加していき2055年には、25%を超える見込み。要介護(支援)認定率は年齢と共に上昇し、85歳〜89歳では約半数が認定を受けているが、1

号被保険者全体で認定を受けている率は約18%程度である。

後期高齢者医療での受給率は96.9%であるのに対し、75歳以上の要介護(支援)認定率は31%となっている。

＊主な施行期日について

平成27年4月1日、介護保険法(地域支援事業の充実、予防給付の見直し、特養の機能重点化、低所得者の保険料軽減の強化、介護保険事業計画の見直し、サービス付き高齢者向け住宅への住所地特例の適用)

平成27年8月1日、介護保険法(一定以上の所得のある利用者への自己負担の引き上げ、補足給付の支給に資産等を勘案)

平成28年4月1日までの間にあって政令で定める日、介護保険法(地域密着型通所介護の創設)特養ホームの重点化

＊見直し案

原則、特養での新規入所者を要介護度3以上の高齢者に限定し、在宅での生活が困難な中重度の要介護者を支える施設としての機能に重点化(既入所者は除く)他方で軽度(要介護1・2)の要介護者について、やむを得ない事情により、特養以外での生活が著しく困難であると認められる場合には市町村関与の下、特例外にも入所を認める。

(参考)

・知的障害、精神障害等も伴って、地域で安定した生活を続けるのが困難な家族による虐待が深刻であり、心身の安全、安心の確認が不可欠
・認知症高齢者であり、常時の適切な見守り、介護が必要

＊一定以上の所得者の利用者負担の見直し

保険料の上昇を可能な限り抑えつつ、制度の持続可能性を高める為、これまで一律に1割に据え置いている利用者負担に

ついて、相対的に負担能力のある一定以上の所得の方の自己負担割合を2割とする。ただし、月額上限がある為、見直し対象の全員の負担が2倍になるわけではない。

自己負担2割とする水準は、モデル年金や平均的消費支出の水準を上回りとし、かつ負担可能な水準として、被保険者の上位20%に該当する合計所得金額160万円以上の者(単身で年金収入のみの場合、280万以上)

要介護者の所得分布は、被保険者全体の所得分布と比較して低い為、被保険者の上位20%に相当生活リハビリは手慣れたもの



する基準を設定したとしても、実際に影響を受けるのは、在宅サービスの利用者のうち15%程度と特養入所者の5%程度と推計。

いよいよ平成27年度より、介護保険は制度改正と報酬改正のダブル改正の年を迎えます。今後動きがありましたらご報告したいと思います。

2014年10月文化祭アンケートから

①理由のいかんにかかわらず戦争は良くない(80才男性)

②川崎周辺の戦後の写真が印象に残った(30代男性)

③年配の方の青春時代を振り返るような機会を頂きありがたいございました。回想法を私も取り入れてきずなのある看護をできたらと思います。

(40代女性)

④悲惨な姿でびっくりりし、自決していたのも写真で見たからびっくりりました。飯ごうにはキ

レイに炊けるように工夫されていたすごいと思われました。お味噌汁の麩を初めて食べてすごくおいしかった(10代女性)。

⑤昔の事を思い出して涙が出ました。(80代女性)

⑥両親が広島出身で恐ろしさを再認識させられました。(60代女性)

⑦原爆と戦争展、同時代を過ごした者として居住地は違っても風化させてはいけないこととして当時を思い出しております。(80代女性)

⑧原爆の写真を見てショックを受けました(女性)

⑨学校でも勉強しているため原爆と戦争展が印象に残った(10代男性)

⑩デイに参加している人たちが前向きに作業に取り組んでいる姿が表れていました。食事においてもお年寄りを考えて作られているので皆様の努力を感じます。これからも地域のためにがんばってください。

⑪忘れてはならない戦争の事を常に掲示していることは良いことです。いつまでも続けてほしい。

⑫みそ汁の味がとても良

くおいしかったです(70代女性)。

⑬戦争は絶対反対。(60代男性)

⑭わかりやすく教えて頂き感謝(認知症講演)。

⑮知らないけれど、読まなければ、伝えなければ(文化人コーナー)(70代女性)

⑯各種作品が亡くなった母が作っていたことも思い出されました。(60代女性)

⑰戦争はいやです。

⑱私が1年生の時終戦になりました。写真を見て記憶がよみがえります。戦争は許せないと思いません。(70代女性)

⑲広島市の原爆ドームにも行きましたが、そこと違って感じて原爆のことを知ることができました。(50代女性)

⑳戦争のコーナーは本当にあったこととは思えないほど怖かったです(40代女性)。

㉑戦争を二度と起こしてはならないと思いました。戦争で亡くなった人々の上に私たちの幸せがある事に感謝の気持ちでいます。

⑳戦争の話しだったので知らないことも多かった(30代男性)。

㉑沖縄戦のことなど学校で教わったことがあったのでそれについての資料もあって印象に残りました。グループホームの皆さんの作品は手作り感があってあったかい印象を受けました。(10代女性)

㉒原爆や戦争など写真が多く参考になりました。連合国に対して日本軍の戦死者数が多すぎて力の差を感じた。

㉓原爆の悲惨さを感じたしだいです(70代女性)

㉔メイコ先生の作品、短い文の中にみなさんの生き様、人柄があらわられていて似顔絵とともにとても感動しました。(30代女性)

㉕原爆の写真はとても悲惨で目に焼き付き、つらい気持ちです。グループホームの写真はお世話になっていたおばあちゃんのことを思い出したなつかしいです(70代女性)

㉖介護弁当など常食とペー

ストを比べる機会があまりないので印象に残りま

した。メイコ先生の作品のひと言でその方がどんな人か想像できてとても楽しかったです。(20代女性)

㉗戦争は怖いから嫌です。自分の子や孫たちを戦争に出したくありません!(80代女性)

㉘原爆と戦争展を見たときに人がたくさん死んだ写真があつてすごく怖いと思いました。(10代女性)

㉙テレビ、ラジオから聞いてはいたが実際展示を見るとあらためて戦争はいやだと思う。(60代女性)



みなさん炊事は達人です

㉚戦争は怖いから嫌です。自分の子や孫たちを戦争に出したくありません!(80代女性)

㉛原爆と戦争展を見たときに人がたくさん死んだ写真があつてすごく怖いと思いました。(10代女性)

㉜テレビ、ラジオから聞いてはいたが実際展示を見るとあらためて戦争はいやだと思う。(60代女性)